



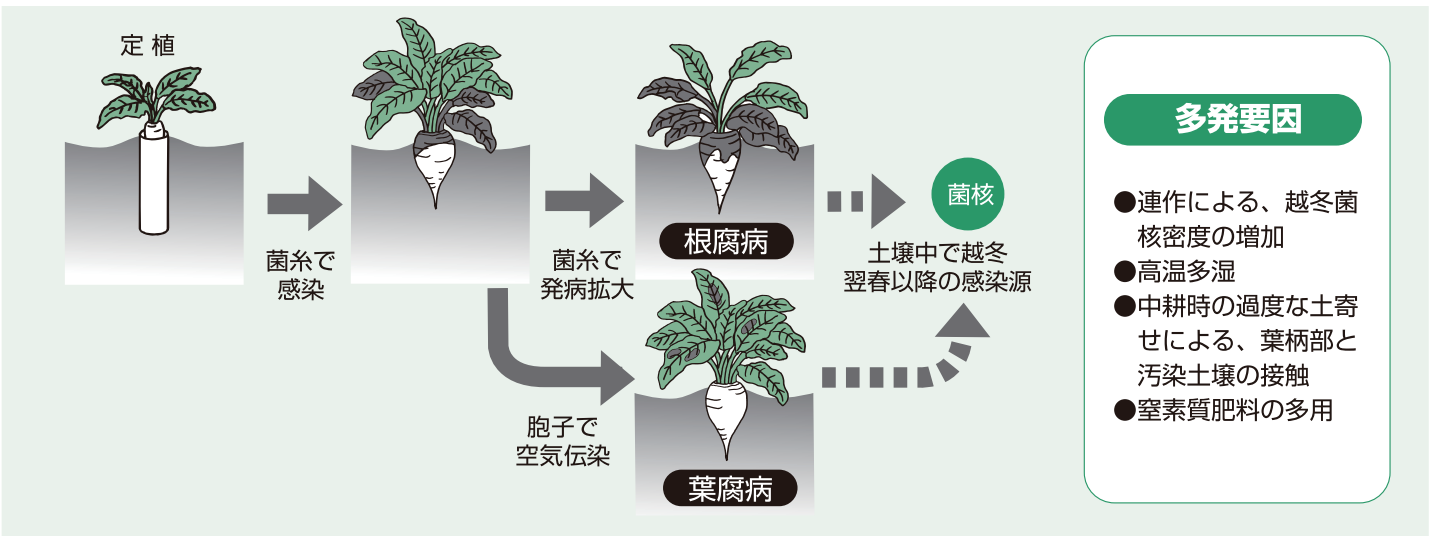
# モンセレン®

顆粒水和剤

## 予防に優る防除なし てんさいの 根腐病・葉腐病 防除に!



### てん菜根腐病・葉腐病の伝染様式



### モンセレン顆粒水和剤の上手な使い方

(月)	4月	5月	6月	7月	8月
	育苗	定植	根部肥大開始	茎葉伸長最盛	根部肥大
(病害の発生)			← 根腐病(本畑) →		
				← 葉腐病 →	
(処理)	根腐病(苗床灌注) モンセレン顆粒水和剤 200倍 定植前		根腐病(株元散布) モンセレン顆粒水和剤 1,000倍 6月/上~下旬		葉腐病(莖葉散布) モンセレン顆粒水和剤 1,000倍 7月/下旬~8月

### 防除のポイント

- 根腐病は、根部収量低下が著しい。 → 予防散布が大切。
- 根腐病は、予防が重要です。 → 苗床灌注処理と本圃体系防除が必要。
- 根腐病防除により葉腐病発生が抑制されます。

**モンセレンは、根腐病に対する  
予防効果と残効性に優れます。**

# モンセレン<sup>®</sup> 顆粒水和剤

農林水産省登録 第20067号  
有効成分：ペンシクロン 50.0%  
人畜毒性：普通物

## 特 長

- 顆粒水和剤なので、薬剤調製時の計量が容易なだけでなく、粉立ちによる薬剤吸入の心配が少ないので使用者にとって使いやすい薬剤です。
- 根腐病防除は、発病させないことが重要です。予防効果に優れるモンセレンが最適です。
- 定植前の苗床灌注と本圃の体系防除で、優れた効果を発揮します。
- 根腐病と葉腐病をおこすリゾクトニア菌に対し、優れた効果を示します。
- 残効性が長いので、根腐病と葉腐病に対し、安定した効果が期待できます。
- 蚕およびミツバチなどの有用生物や天敵に対して影響がありません。

## ■ てんさいでの適用病害および使用方法

(2016年11月現在の登録)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	使用回数*		使用方法
					本剤	ペンシクロン	
てんさい	葉腐病	1,000	100~300ℓ /10a	30日	4回	4回 (灌注は1回)	散布
	根腐病				1回		

\* 印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

※ モンセレン顆粒水和剤はばれいしょの種いも消毒にも登録があります。

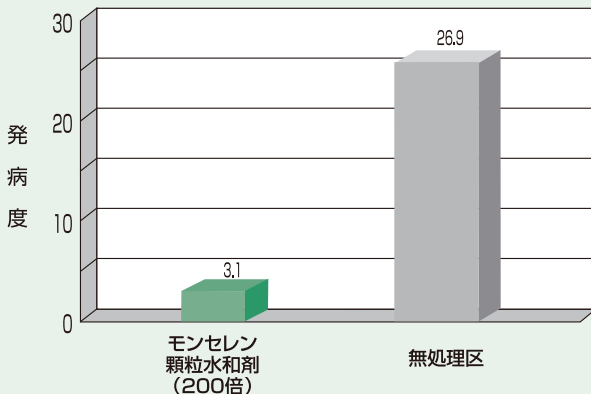
## ■ 安全使用上の注意事項

- 粉末は眼に対して弱い刺激性がありますので眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 使用の際はマスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

## ■ モンセレン顆粒水和剤の試験成績

### ● 苗床灌注による根腐病に対する効果

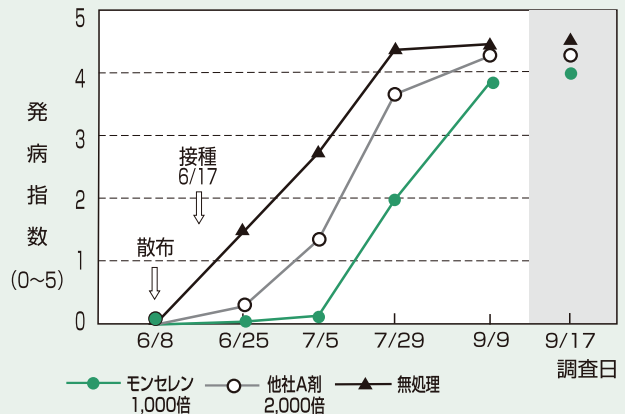
(平成10年 北海道植物防疫協会)



処理月日：4月30日  
調査日：9月10日  
薬害：無

### ● 株元散布による根腐病に対する効果

(平成16年 日本甜菜製糖株式会社)



処理月日：6月8日 接種：6月17日  
調査日：地上部 6月25日、7月5日、7月29日、9月9日  
地下部 9月17日  
モンセレンの予防散布はA剤に比べ、優れた残効を示した。

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。